

# 3月17日の大倉山講演会

## 大倉山記念館建設のこころざし

### —大倉邦彦の社会貢献活動—

横浜市大倉山記念館は、昭和7年（1932）に大倉精神文化研究所の本館として建設された建物です。施主は、紙問屋大倉洋紙店の社長大倉邦彦。精神文化研究所には、最初から図書館が併設されていました。大倉は、教育機関として富士見幼稚園、農村工芸学院、浄牧女子工芸学院などを創設し、後に東洋大学の学長も務めました。

それら全ての活動に共通している大倉邦彦の<sup>こころざし</sup>志は、心の教育によって人材を育成し社会に貢献することでした。大倉はこれをライフワーク（使命事業）と考え、精神文化事業と名付けて、自身の財産とその生涯を精神文化事業に捧げました。

大倉邦彦が精神文化事業をライフワークと考えた背景は、何だったのでしょうか。邦彦に影響を与えた大倉家の経営理念や、大倉洋紙店初代社長大倉孫兵衛、二代目社長で養父の大倉文二の社会貢献活動、さらには邦彦の影響を受けた人たちについても見ていきます。

◇日時：平成30年3月17日（土）午後2時～3時30分（開場は午後1時40分）

◇会場：横浜市大倉山記念館 ホール

横浜市港北区大倉山二丁目10-1 大倉山公園内（東急東横線大倉山駅下車徒歩7分）

◇講師：平井 誠二（大倉精神文化研究所所長）

◇定員：80名（入場無料、予約なし当日先着順）

◇問合せ：（公財）大倉精神文化研究所 電話 045-834-6637

Eメール okuraseishinbunka@js6.so-net.ne.jp

ホームページ <http://www.okuraken.or.jp/>



主催：公益財団法人大倉精神文化研究所 共催：横浜市大倉山記念館指定管理者

次回 4月21日（土） 近代の漢学と社会貢献活動

— 渋谷栄一と三島中洲の交流から — 講師：町 泉寿郎（二松學舎大學教授）